

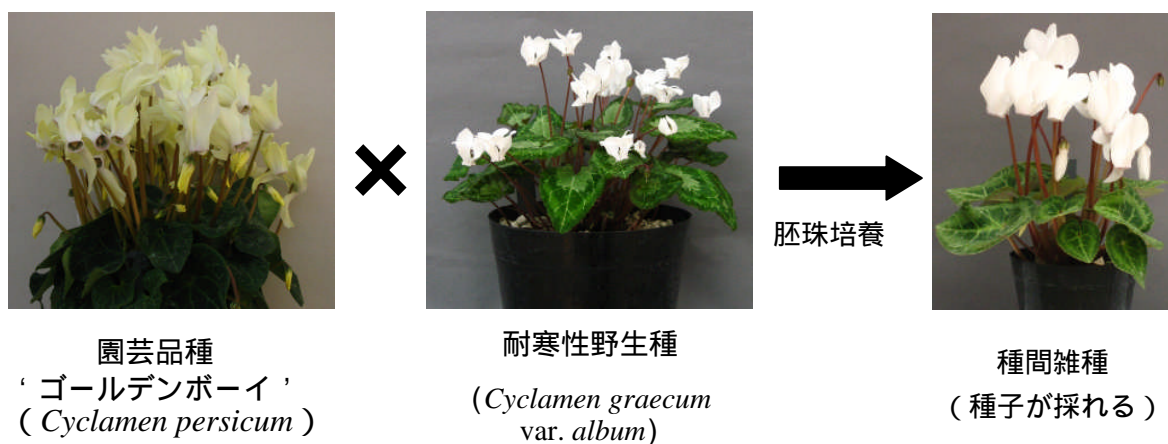
新ガーデンシクラメンの育成

現在のガーデンシクラメンはミニシクラメン (*Cyclamen persicum*) を改良したもので、屋外の花壇では寒さのために枯れることがあります。そこで寒さに強い野生種のシクラメンを園芸品種に交配し、胚珠培養により、種子が採れる種間雑種を作りました。

この種間雑種を屋外で寒さに当てたところ、既存のガーデンシクラメンより寒さに強いことがわかりました。また、夏に休眠するため、夏越しが容易となり、現在のガーデンシクラメンより栽培しやすいことが明らかになりました。

胚珠培養：異なる種類の植物を交配すると、種子ができないことが多くあります。その際、早い時期に胚珠を取り出し、バイオテクノロジーを利用することで種子を作ることができます。

1. 種間雑種の育成



2. 耐寒性と耐暑性による選抜 (園芸研究所の戸外に放置して生育を調査)

	平成 22 年 11 月	平成 23 年 4 月	平成 23 年 11 月
種間雑種		 生存率 (94%)	 生存率 (85%)
既存ガーデンシクラメン		 生存率 (0%)	